

令和2年(2020年)5月27日

保護者の皆様

一般社団法人 八王子市医師会
会 長 石塚 太一
小児科部会
八王子市学校保健会
会 長 石塚 太一

新型コロナウイルス感染症流行期における 小児と保護者への対応についてお願い

日頃より子どもたちの健康を守るためにご尽力いただき、ありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、残念なことに保護者の新型コロナウイルスに対する過剰反応が、却って小児医療や保健の妨げとなる事例も散見され問題になっています。
そこで皆様におかれましては、日々の場面において下記の点にご留意いただき、正しい知識の啓発とご指導にご協力いただきたく、宜しく願い申し上げます。

1. 乳幼児健診は予定通り受けること

なお6月までの間、3か月から4か月児健康診査は集団の健診を休止し、個別方式で実施され、当面の間、1歳6か月児と3歳児健康診査は休止されています。

2. 予防接種は予定通り接種すること

小児ではVPD(ワクチンで予防可能な病気)は、新型コロナウイルス感染症よりも、はるかに危険な病気です。

3. 定期受診が必要な病気を“後回し”にしないこと

4. マスクが不適切な年齢・場合があること

- ・ 乳幼児用マスクが市販されていますが、CDC(アメリカ疾病予防管理センター)からは、2歳未満のマスク使用は窒息の危険性があるので、禁忌と示されました(冷却ジェルシートも同様の危険性が指摘されています)。
- ・ 2・3歳児と心身に障害のある児には、着用が無理な場合があります。呼吸の苦しさがなければ確かめて使用することが必要です。
- ・ 乳幼児は相手の顔の表情を見ながら安心感を得て、同時にコミュニケーション能力を磨いて行くので、健康な親は家庭ではマスクをしないことが望まれます。
- ・ 聴覚障害者同士または、聴覚障害者と接する場合などにもマスクが意思疎通を阻害してしまう場合があります。

5. 社会的な不安の高まりや在宅勤務等の影響により、増加する児童虐待と家庭内暴力の早期発見に心がけて頂くこと

以上